

活動テーマ

大津市立日吉中学校及び日吉子どもサミット

安心・安全な生活環境の構築

～with コロナ 新たな30年のスタート～

実践事例について

日吉中学校区内には4小学校2中学校（1校は私立）がある。この6つの学校の児童会・生徒会で構成された日吉子どもサミットが中心となり、6小中学校が共同で参加し、実践している地域の環境保全活動がある。日吉台学区は「花の街づくり」、下阪本学区は「下阪本クリーン作戦」、坂本学区は「坂本ふるさと大掃除」、雄琴学区は「雄琴ヨシ刈り」が各学区メインの活動である。特に、琵琶湖周辺に位置する下阪本と雄琴の活動の際には、シジミヤフナの稚魚の放流が行われている。さらに、そういった水生生物が生息できる環境になっているかを検証するために、地域の河川の水質調査を例年実施している。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動内容を再検討し、試行する年となった。

1. 「日吉子どもサミット」について

日吉子どもサミットは、平成2年に日吉ブロックの4小学校2中学校の児童会・生徒会の子どもたちがリーダー研修の場として集まり、何か一緒にできることはないかと考え、結成された。日吉子どもサミットの活動を通じて自分の意見を述べたり、行事を企画・運営したり、地域ボランティアに取り組むなど、社会性を育むことが目的である。

最近では地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、「吉鳥のPR」などの広報活動をさらに強化し、多くの児童・生徒と一緒に活動できるようにと考えている。



2. 今年度の活動テーマと基本方針

- 活動テーマ：安心・安全な生活環境の構築
～with コロナ 新たな30年のスタート～

基本方針：

- ①日吉ブロックの児童会、生徒会の児童生徒がボランティア活動を通して友好を深め、地域内のリーダーとして活躍できる場とする。
- ②サミット会議を開き各校の活動を交流することで互いの活動を理解し、よりよいところを吸収し、各校の学校づくりに生かす。

3年前までは、総括と反省で出た意見をいかして、地域の安全マップを作り、子ども目線での地域の課題を地域の方々に発信し交流することで、自分たちの暮らす地域をよりよくする活動につなげてきた。今までの「アルミ缶回収」や「地域ボランティア」に継続して取り組む上で、「吉鳥のPR」などの広報活動をさらに強化し、多くの児童・生徒と一緒に活動できるようにと考えられました。「日吉はひとつ」をキーワードに、日吉ブロックの子どもたちの現状と課題について考え、ブロックで共通して取り組めることを考えた。

昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大により活動の原点である「アルミ缶回収」の取り組みや各地域でのボランティア活動への参加が難しい1年であった。今年度は30周年を節目にして、これまでの取り組みの総括をふまえ、また、活動の転換期として、「安心・安全な生活環境の構築～with コロナ 新たな30年のスタート～」をテーマに活動した。これまで送ってきた学校生活や家庭・地域での生活様式がこの1年で大きく変化し、学校でも、家庭や地域でも、安心・安全にまた、健康的に生活を送るために、自分たちにできることについて考え、交流し、実践へ移す、という思いで取り組んできた。

3. 今年度の活動

実施状況

〇年間2回の合同会議オンライン

- ・6月25日（司会：下阪本小学校）
- ・1月18日（司会：雄琴小学校）
- ◇各校での取り組み紹介・交流
- ◇アルミ缶回収活動代替お試し活動について



○日吉子どもサミット30周年記念式典

【令和3年8月24日(火)】

… 緊急事態宣言に伴い、開催中止

記念紀要の発行

紙面代替

(株)シゲタ様より記念マスク進呈



○人権を考える大津市民の集い

秋の集会：Youtube 配信

春の集会：2月11日(祝)

【中止】

団体のパフォーマンス発表【12団体】

我が家のルールづくり作品表彰

※表彰は各校園にて

●日吉台花の街づくり（6月12日/11月13日）

・日吉台小学校、日吉中学校を中心に地域の方々と協力して日吉台学区入り口、市民センター前、小学校前に季節の花を植える。その後の草引き等の手入れも実施。



●下阪本クリーン作戦（12月4日）

・下阪本小学校、日吉中学校の児童生徒が、地域の方々と琵琶湖岸の清掃活動を実施し、シジミの放流も地域の方々の協力で引き続き行うことができるようになった。



●坂本ふるさと大そうじ（12月22日）

・日吉大社参道の清掃活動を、坂本小学校、比叡山中学校、日吉中学校の児童生徒を中心に地域やPTAの方々と協力して行う。



●雄琴ヨシ刈り・フナ放流（1月30日）

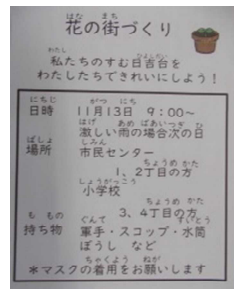
・雄琴小学校、日吉中学校、地域の方々や企業のボランティアと協力して、ヨシ刈り・フナ放流を行う。 【中止】

各校の取り組み

○日吉台小学校【花の街づくりに向けて】

・ポスター掲示

・教室に行き説明する



・前日に放送で呼びかける



○下阪本小学校【下阪本クリーン作戦に向けて】

- ・各クラスにポスターを作成し掲示、全児童にプリント配布
- ・代表委員会での周知
- ・各戸および地域へのお知らせ作成と配布
- ・「ハッピータイムズ」（広報新聞）の記事にして各クラスで掲示
- ・校内放送4回実施（給食時）
- ・当日、執行部の児童が環境宣言を行う

○雄琴小学校

【古着で世界を変えよう】

～学校夢づくりプロジェクト～

Bridge Asia Japan の出前講座を受講した6年生が、自分たちにも何かできることはないかと考え、取り組んだ。着られなくな



くなった思い出のある古着を回収し、途上国に送り、支援するという活動である。回収には、地域の方にも手伝っていただき、児童だけでなく、教職員からも古着が集まった。

○坂本小学校【坂本ふるさと大掃除】に向けて

- ・企画 JRC 委員会による放送での告知
- ・坂本ふるさと大掃除への参加
- ・環境委員会による草引き大会の実施

○比叡山中学校

- ・坂本ふるさと大掃除への参加
- ・ボランティア委員による雑巾づくり
真盛園へ贈呈
- ・書き損じはがき・使い捨てカイロ回収 (取組中)

○日吉中学校

- ・駅前に花を飾ろう運動(環境委員会)
(比叡山坂本駅前にプランター設置)



- ・環境保全活動への参加と
呼びかけ
(ポスターや放送等の
広報活動の強化、
誘い合い運動)



- ・日吉ブロック自主防犯協議会の看板制作

(美術部)



- ・科学部による地域河川の水質調査
緊急事態宣言に伴い中止

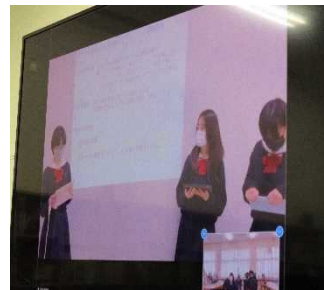
- ・サミットとしてどんな活動ができるのか、SDGsの
観点を意識し、各校で様々な社会貢献活動を試行で
きた。夢づくりプロジェクトとして取り組んだ学校
が複数あった。

課題

- ・日吉子どもサミット発足 30 周年セレモニー兼第
2 回の定例会議は、8 月に計画した。その時期に
は、何度目かの感染拡大に見舞われ、地域の方との
協議会は、大勢が集まることから断念した。
コロナ禍の中で地域の方といかに連携をとるのが
課題である。
- ・水質調査についても、緊急事態宣言発令に伴い実施
を断念した。来年度は、年 1 回の実施計画から年間
を通して継続的な計画とすることができないか検
討すべきと考えられる。

今後の展開と方向性

- ・オンラインなど ICT を活用した会議の定着化
- ・各校での児童生徒会の取り組み紹介
- ・アルミ缶回収活動に替わる社会貢献活動の試行
キーワード「リサイクル」
古着(通年)・ペットボトル(夏期)・カイロ(冬期)
⇒取り組み時期、回収方法、回収場所、回収ルー
ルなど詳細の検討



4. 成果と課題

成果

- ・この取り組みは児童生徒が対面して、意見交流する
ことが大きなねらいであるが、昨年度は新型コロナ
ウィルス感染拡大による開催有無を毎度懸念して
いた。今年度は、オンライン会議など ICT を活用し
た会議を年度当初から計画し、安心して実行する
ことができた。
- ・オンラインでのサミット会議の司会や意見発表など
の経験を通して、「見せる」「魅せる」「発信する」日吉
学区のリーダーがたくさん育ってきた。

学校名	大津市立日吉中学校
住所	大津市下阪本六丁目38-26
電話番号	077-578-0056
E-mail	hiyosi@otsu.ed.jp